

## 令和4年度 球美中学校 各教科シラバス

教科名	理科
教科担当	幸本 崇弘
教科書名	新しい科学 1 (東京書籍)
副教材名	理科ノート 基礎の強化 観点別 W 評価プリント

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標→目標を達成するための授業・活動→今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう！

### 1 理科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。</li> <li>(2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技能を習得する。</li> <li>(3) 科学的な見方や考え方を養う。</li> <li>(4) 自然の事物・現象についての理解を深める。</li> </ul>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。</li> <li>(2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技能を習得する。</li> <li>(3) 科学的な見方や考え方を養う。</li> <li>(4) 自然の事物・現象についての理解を深める。</li> </ul>
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な事項を「理解」して覚えましょう。【気づいたことはメモを取る】</li> <li>(2) 常に「なぜそうなっているのか？」を考えましょう。</li> <li>(3) 実験・観察では結果を正確に記録し、その結果をもとに自分なりの考えを書きましょう。</li> <li>(4) 実験・観察には危険を伴うことがあります。注意事項はしっかり聞きましょう。</li> <li>(5) 間違えることを恐れず、自分なりの考えを根拠を示しながら、積極的に書きましょう。</li> </ul>

### 2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 成績は、授業での学習状況(態度・問答・操作技能)、単元テスト・章テストの得点、各種提出物などを総合的に評価します。</li> <li>(2) 評価の観点は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」です。</li> <li>(3) 長期休業(夏休み・冬休み・春休み)を中心に課題を出します。</li> </ul>
単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 単元・章ごとにテストを行います。</li> <li>(2) 単元・章テストの期日は、1週間前までに連絡します。</li> <li>(3) 授業で扱った事項・学習内容を中心に出题されます。</li> <li>(4) 学習内容の定着は不十分な場合は補習を行います。</li> </ul>

### 3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。	理科シラバス
5月	単元1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類のしかた 2章 植物の分類 3章 動物の分類	1章テスト 2章テスト 3章テスト
6月		単元テスト
7月	単元2 身のまわりの物質 1章 身のまわりの物質とその性質 2章 気体の性質 3章 水溶液の性質	1章テスト 2章テスト 3章テスト
8月	4章 物質の姿と状態変化	4章テスト 単元テスト 夏休み課題「自由研修」
9月	単元3 身のまわりの現象 1章 光の世界	1章テスト
10月	2章 音の世界 3章 力の世界	2章テスト 3章テスト
11月		単元テスト
12月	単元4 大地の変化 1章 火をふく大地	1章テスト
1月	2章 動き続ける大地 3章 地層から読みとる大地の変化	2章テスト 3章テスト
2月		単元テスト
3月	学習内容の総復習	

### 4 授業をうける心構え

- (1) チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- (2) 質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手)
- (3) 授業で何を学習するかを確認し、目的意識を持って臨みましょう。
- (4) わかったことや自分の考えを積極的に発表しましょう。
- (5) 他の意見を聞き、考えを深めるなど協力して学習を進めましょう。
- (6) ノートやプリントは、工夫してまとめましょう。
- (7) 学習課題をじっくりと考え、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- (8) 提出物は提出期限を守りましょう。

### 5 家庭学習のアドバイス

- (1) 学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- (2) 教科書、ワーク(基礎の強化)や授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくと良いでしょう。
- (3) 内容のポイントは声に出したり、書いて覚えましょう。
- (4) テストで間違えた問題は必ず解き直しをしましょう。

## 令和4年度 球美中学校 各教科シラバス

教科名	理科
教科担当	亀川 綾子
教科書名	新しい科学 2 (東京書籍)
副教材名	理科ノート 基礎の強化 観点別 W 評価プリント

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標→目標を達成するための授業・活動→今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう！

### 1 理科の学習について

学習のねらい	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技能を習得する。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
授業の進め方	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技能を習得する。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
学習上の留意点	(1) 基本的な事項を「理解」して覚えましょう。【気づいたことはメモを取る】 (2) 常に「なぜそうなっているのか？」を考えましょう。 (3) 実験・観察では結果を正確に記録し、その結果をもとに自分なりの考えを書きましょう。 (4) 実験・観察には危険を伴うことがあります。注意事項はしっかり聞きましょう。 (5) 間違えることを恐れず、自分なりの考えを根拠を示しながら、積極的に書きましょう。

### 2 評価について

評価方法	(1) 成績は、授業での学習状況(態度・問答・操作技能)、単元テスト・章テストの得点、各種提出物などを総合的に評価します。 (2) 評価の観点は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」です。 (3) 長期休業(夏休み・冬休み・春休み)を中心に課題を出します。
単元テスト	(1) 単元・章ごとにテストを行います。 (2) 単元・章テストの期日は、1週間前までに連絡します。 (3) 授業で扱った事項・学習内容を中心に出题されます。 (4) 学習内容の定着は不十分な場合は補習を行います。

### 3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。	理科シラバス
5月	単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質どうしの化学変化 3章 酸素がかかわる化学変化	1章テスト 2章テスト 3章テスト
6月	4章 化学変化と物質の質量 5章 化学変化とその利用	4章テスト 5章テスト 単元テスト
7月	単元2 生物のからだのつくりとはたらき	夏休み課題「自由研修」
8月	1章 生物と細胞 2章 植物のからだのつくりとはたらき 3章 動物のからだのつくりとはたらき 4章 刺激と反応	1章テスト 2章テスト 3章テスト 4章テスト
9月		単元テスト
10月	単元3 天気とその変化 1章 気象観測	1章テスト
11月	2章 雲のでき方と前線 3章 大気の動きと日本の天気	2章テスト 3章テスト
12月		単元テスト
1月	単元4 電気の世界 1章 静電気と放電 2章 電流の性質	1章テスト 2章テスト
2月	3章 電流と磁界	3章テスト 単元テスト
3月	学習内容の総復習	

### 4 授業をうける心構え

- (1) チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- (2) 質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手)
- (3) 授業で何を学習するかを確認し、目的意識を持って臨みましょう。
- (4) わかったことや自分の考えを積極的に発表しましょう。
- (5) 他の意見を聞き、考えを深めるなど協力して学習を進めましょう。
- (6) ノートやプリントは、工夫してまとめましょう。
- (7) 学習課題をじっくりと考え、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- (8) 提出物は提出期限を守りましょう。

### 5 家庭学習のアドバイス

- (1) 学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- (2) 教科書、ワーク(基礎の強化)や授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくと良いでしょう。
- (3) 内容のポイントは声に出したり、書いて覚えましょう。
- (4) テストで間違えた問題は必ず解き直しをしましょう。

## 令和4年度 球美中学校 各教科シラバス

教科名	理科
教科担当	亀川 綾子
教科書名	新しい科学 3 (東京書籍)
副教材名	理科ノート 観点別 W 評価プリント 3年間の総まとめ問題集

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標→目標を達成するための授業・活動→今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう！

### 1 理科の学習について

学習のねらい	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技能を習得する。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
授業の進め方	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技能を習得する。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
学習上の留意点	(1) 基本的な事項を「理解」して覚えましょう。【気づいたことはメモを取る】 (2) 常に「なぜそうなっているのか？」を考えましょう。 (3) 実験・観察では結果を正確に記録し、その結果をもとに自分なりの考えを書きましょう。 (4) 実験・観察には危険を伴うことがあります。注意事項はしっかり聞きましょう。 (5) 間違えることを恐れず、自分なりの考えを根拠を示しながら、積極的に書きましょう。

### 2 評価について

評価方法	(1) 成績は、授業での学習状況(態度・問答・操作技能)、単元テスト・章テストの得点、各種提出物などを総合的に評価します。 (2) 評価の観点は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」です。 (3) 長期休業(夏休み・冬休み・春休み)を中心に課題を出します。
単元テスト	(1) 単元・章ごとにテストを行います。 (2) 単元・章テストの期日は、1週間前までに連絡します。 (3) 授業で扱った事項・学習内容を中心に出題されます。 (4) 学習内容の定着は不十分な場合は補習を行います。

### 3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。	理科シラバス
5月	単元1 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 化学変化と電池	1章テスト 2章テスト 3章テスト
6月	3章 酸、アルカリとイオン	単元テスト
7月	単元2 生命の連続性 1章 生物の成長と生殖 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の多様性と進化	1章テスト 2章テスト 3章テスト 単元テスト
8月		夏休み課題「自由研修」
9月	単元3 運動とエネルギー 1章 物体の運動 2章 力のはたらき方 3章 エネルギーと仕事	1章テスト 2章テスト 3章テスト
10月		単元テスト
11月	単元4 地球と宇宙 1章 地球の運動と天体の動き 2章 月と金星の見え方	1章テスト 2章テスト
12月	3章 宇宙の広がり	3章テスト
	単元5 地球と私たちの未来のために	単元テスト
1月	1章 自然のなかの生物 2章 自然環境と調査と保全	1章テスト
2月	3章 科学技術と人間 終章 持続可能な社会をつくるために	2章テスト 3章テスト
3月	学習内容の総復習	単元テスト

### 4 授業をうける心構え

- (1) チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- (2) 質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手)
- (3) 授業で何を学習するかを確認し、目的意識を持って臨みましょう。
- (4) わかったことや自分の考えを積極的に発表しましょう。
- (5) 他の意見を聞き、考えを深めるなど協力して学習を進めましょう。
- (6) ノートやプリントは、工夫してまとめましょう。
- (7) 学習課題をじっくりと考え、課題を解決できたことに時sんを持ちましょう。
- (8) 提出物は提出期限を守りましょう。

### 5 家庭学習のアドバイス

- (1) 学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- (2) 教科書、ワーク(基礎の強化)や授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくと良いでしょう。
- (3) 内容のポイントは声に出したり、書いて覚えましょう。
- (4) テストで間違えた問題は必ず解き直しをしましょう。